

第4回次世代に向けた兵庫県警察の組織の在り方を考える懇話会

会議録

(平成29年7月31日(月)開催分)

第4回次世代に向けた兵庫県警察の組織の在り方を考える懇話会会議録（要旨）

1 開催日時

平成29年7月31日（月）午後1時00分から午後3時02分

2 場所

兵庫県公館第2会議室

3 出席者

(1) 懇話会委員（敬称略・五十音順）

石橋伸子委員、北野美智子委員、北村亘委員（座長）、下村俊子委員、武内重治委員、西海恵都子委員、橋本猛伸委員、蓬萊務委員、山下淳委員

(2) 警察本部

西川直哉警察本部長、竹迫宜哉警務部長、松本法昭警務部参事官兼警務課長、浪花和志会計課長

4 会議概要

(1) 本部長あいさつ

(2) 議事

警察署・警部派出所の在り方について（事務局から説明）

(3) フリーディスカッション

(4) 事務連絡

5 フリーディスカッションの要旨

【委員】

- ・ 警察署の再編は、効率化だけで進められることでもない。
- ・ サービスの低下をもたらさないことが重要。また、県民がどう受け止めるかは、どう考えているのか。

【警察】

- ・ 地域住民の方が、警察に望むのは、第一に治安機能であろうと考えている。自己に何らかの危険が及んだ時に、警察官が来てくれるかということが一番不安に思われることだと思う。
- ・ 警察はパトカーなどの機動的な部隊もあり、各交番もあるので、効率化を図ることにより、相当程度強化ができると考えている。
- ・ 行政機能は、窓口が集約されてサービスの低下の指摘もあると思っている。ただ、道路網の発達状況等から、警察署までのアクセスも考えた上で、検討していきたい。
- ・ 住民の利便性の確保は、警察法施行令に規定されており、これを全く考えず統廃合をすることはあり得ない。

【委員】

- ・ 人口は減少、施設が老朽化、予算の確保が難しい状況にある。犯罪の高度化、広域

化、国際化等々で、機能の充実が求められている。警察署の再編なくして兵庫県警の将来なしと、そういう印象を改めて認識した。

- ・ 警察署の再編は、住民・県民の、「説得」ではなく「納得」というキーワードに向ける意識改革が必要である。
- ・ 再編に伴う機能の補完には、OBの活用が不可欠と思う。警察官を再任用し、コストは下げて、機能は維持していくということは考えているのか。
- ・ 警察機能は、その地域の安全の抑止力と住民・県民の意識改革をしないと、私たちの町から警察署がなくなるというのは、説得しても納得性がないと実現は難しいと思う。これが他の組織とは全く違うと思う。

【警察】

- ・ 地域の安全ステーションという意味で交番相談員（OB）を任用している。
- ・ 警察署の再編に際し、交番を大型化して、パトカーを前線待機させておくと、110番したら今までよりも早く来てくれるようになったとかいうことを考えていかなければいけない。

【委員】

- ・ 警察署で事案が起こった場合は、その警察署がきちっと責任を持つというような一般論がある。
- ・ 初動はそれでいいと思うが、その警察署に犯人を留置しないで、可能な限り留置は集約させることは現実的に可能か。

【警察】

- ・ 集中護送は、全ての警察署に対して組むというのが理想である。しかし、個別護送は最終的には必ず残ってくる。その割合を少しずつ減らして行きたい。
- ・ 大規模な留置施設を設置して、集中的に管理をして警察署の負担を減らしていく。

【委員】

- ・ 具体的なデータも示され、なぜ再編が必要かが、私自身は割とストンと落ちた。全県的な視野で見た場合に、小規模な非効率なところを束ねて、人員を生み出して、より必要なところがあって振り分けることで、全県的に議論を進めているので、非常にわかりやすいという感じで受け止めたが、今後議論が進むと統合される地域というのが特定されていく。
- ・ 体感治安みたいなところを、住民の方がどう感じるのかっていうのがとても肝になってくる。モデルでは、エリアが広がってしまって大丈夫なのかと思っていたが、今ある署でも広いエリアを持っている署があると聞いて、全県的なバランスはとれてると納得した。
- ・ 再編の対象地域の方は、他のところがどうかという数値だけでは腑に落ちない。
- ・ なぜ自分の住んでいる地域が今再編の対象になっているのかということをも全県的な視点で知ってもらうことで、より理解を深めていただけたらと思うので、是非考えていただきたい。

【警察】

- ・ 住民の方の納得性は、必要であると思っている。全体的な視点としては分かるが、個々の住民に対してはどうかということは大変な議論だと思う。

【委員】

- ・ なぜ、全県的にこういう議論をしないといけないのかという全体状況をまず多くの方に知ってもらう。次に「あ、自分の所がそういう対象エリアになったのか」というように、段階的に理解していただく方がより良いのではないかと思う。

【警察】

- ・ 有識者会議の議論は、逐一内容をホームページに載せていくことで、ステップステップにおいて、アカウントビリティ（説明責任）があるということ。
- ・ 総論部分は、必要性や方向性については有識者会議の皆様からいただく最終的な報告書で、どうして今兵庫県警察は組織改編しなければならないのかについて、まとまった形でお示しができると考えている。
- ・ 有識者会議の各議論のホームページへのアップで第一段階、最終段階的な総論として皆様からいただく報告書で第二段階、「面」的な具体論についてはその当てはめという形で第三段階という形で説明をさせていただきたいと思っている。

【委員】

- ・ 人口減少の中で、施設は老朽化している、人員は確保できない、予算は確保できない、という取り巻く環境の変化において、警察署を再編したり、警察署の新たな組織図を考えないといけないことはわかる。
- ・ 合理的再編をし、サービスは絶対に落とさない、警察の機能は低下させない。警察の機能をアップし、かつ再編をし、スリム化して他で効率になれば良い。

【委員】

- ・ 何がそもそも今問題なのかということシェアするということは必要である。
- ・ 効率性というのは、重要なキーワードだと思うが、もう一つは高度化だと思う。
- ・ 警察も、地元の警察署がなくなって不安だ、というのを補って余りあるぐらいの高度化対応ができるということを持ってもらう。

【委員】

- ・ 人口が日本全国で減少し、税収が減ることは現実であり、再編は避けられないと思う。ほとんどの地域で、従前の活気というのは少しずつ穏やかになっていくのは致し方がない、それを我慢しなければいけないとか、カットされていくとか、切り捨てられていくとかいうイメージで捉えるとしんどいだろうと思う。
- ・ 現実を踏まえて、積極的にどういう風に生きていくかを考えていく。皆でしょうがないから我慢しようではなく、より良い社会を目指そうというメッセージが県なり、県警なりから発信されれば、住民は納得感を持つことができるのではないかと思う。

【委員】

- ・ 警察行政だけで進めると無理があるので、他の行政も一緒に考えるという視点をどこかに残さないと無理だと思う。警察があるかないかは、その地域の誇りでもある、命の拠り所でもあると思う。他の行政の再編とは違う側面があるということ盛り込んでいく必要がある。

【委員】

- ・ 49警察署のそれぞれが大変であるというのは、県警本部の立場として理解できる。それぞれの署の意見も経てまとめられたらうれしい。

【警察】

- ・ 警察としては、再編にあたっての基準みたいなものをいただければありがたいと考えている。色々な論点があると思うので、本部はこういう方向で強化すべき、警察署は何人の署員を基本として、地理とか交通の事情等も含めて再編を検討すべき等の議論をいただきたい。
- ・ 11月までには、基準的なものを出していただくというのが現実的なところと思う。

【委員】

- ・ 本部、警察署、交番等も含めたトータルとしての警察組織がこうなっている。組織がこういうパフォーマンスを提供する、それによって警察サービスの水準が維持される、より高度化されるといったことも示す。例示をつけないと、単に組織を効率化のためにこういう基準で再編しますというだけで、我々の議論をとどめていいかなというのは気になる。

【委員】

- ・ 本部機構も含めて、警察自らをもってどうやってスリム化を図ろうとしているか、効率化していこうとしているか、機能をアップしようとしているか、今ある仕事は満足してはいないでしょう、ということに対して、ここはこうだから、こう改善しなさいという案を出すべきだと思う。
- ・ 組織再編の中には、警察署の統廃合がある、交番の廃止もある。各地区で皆さん検討してくださいというような方向しかないと思う。
- ・ ただ例を示すときに、単に、ある程度懇話会で議論されたのだと言ったら、地域住民から非難を受けるかもしれない。分かりやすくしようと思うと、警察の抑止力だけではなく、機能をアップして、かつ住民達へのサービスもアップして、何も心配ないんだという説得じゃなくて納得性のあるものを提供し、私は具体的な再編の例として、提示するところまで提言できれば、より具体性があるって審議のプロセスも良かったという結果になると思う。

【委員】

- ・ 安全安心と言いながら、刑法犯認知件数も地域によってそれぞれ件数が違う。それぞれ安全安心に対する思いというのも違う。
- ・ 犯罪の多いところに対して、再編でいかにして減らすかという工夫も、大事ではないかと思う。

【委員】

- ・ 今まで色々な内容とか方針とかご議論が出たが、一人歩きして、結局何もできませんでしたということになっても困るので、バランスは皆様と議論しながら進めていきたい。ただし、時間は11月と限られているので、その中で最善を尽くしたい。